

新「鳥取市」の みなさんに 聞きました



各地域のみなさんの声をご紹介します。

すばらしき田舎へ

たくさんの友達と一緒に

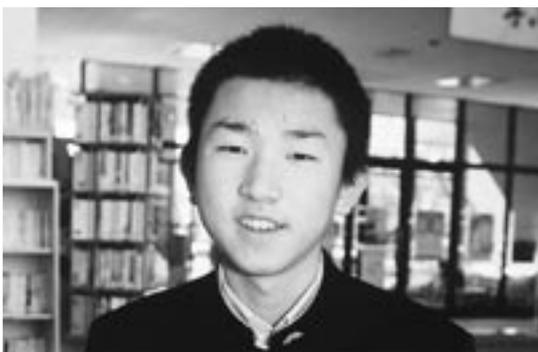


鳥取市 服部友梨香ちゃん(鳥取大学附属小学校6年生・右)
// 萌絵香ちゃん(// 左)

古い歴史のあるものや、見どころがたくさんあるので、いろんなまちの人知ってもらって、たくさんの方が来てくれる鳥取市になってほしいです。

そして、遠いところの人と仲良しになって、たくさんのお友達と一緒にあそびたいです。

—— 町村の文化や歴史を大切に



河原町 山根達徳さん
(河原中学校生徒会長・14歳)

14年間の思いでの詰まった河原町が11月1日から鳥取市となります。

毎年、地元で開かれる「あゆ祭」を楽しみにしていました。市になると、規模の大きな祭や人との交流が盛んになりますよね。

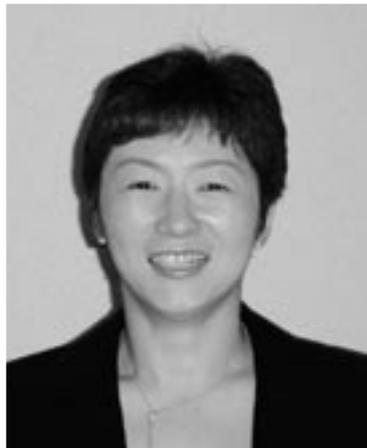
今までの各町村の文化や歴史を大切にしながら、ぼくたちと一緒に新しい市が成長して欲しいです。

人口20万の新鳥取市と聞けばそこそこの都市ですが、実際は田舎です。田舎には都市が無くしてしまつた良い所がたくさんあります。新鳥取市は都会ではなく、素晴らしき田舎」を目指して欲しいと思います。

福部町 岡野巧さん
(農業・36歳)



地域のみなさんへ支援を



旧市町村の良さを活かしたうえで、結果すると大きな力が出せる、そんなまちになって欲しいです。特に仕事柄、特産品を開発しておられる人たちとお話する機会が多いので、地域で一生懸命がんばっているみなさんを支援して欲しいですね。

国府町 坂手里絵さん
(団体職員・37歳)

文化行政の推進を期待

わがまちの流しびな行事や三角山の夏祭りの運営は、用瀬地区の町内会が大きな役割を担っています。また、江波地区の伝統芸能である江波三番(鳥取県無形民俗文化財)も、江波部落のみなさんが大切に受け継いできたものです。新市には、こうした各町村で受け継がれてきた伝統文化を、今よりもさらに力を入れて地域で取り組んでいけるような文化行政の推進を期待しています。

用瀬町 中谷信さん
(さん儀づくりの常盤会会長・85歳)

